

令和2年度知的財産権研修[初級]実施報告

令和3年3月

令和2年度、独立行政法人工業所有権情報・研修館では知的財産権研修を2回(2回目はオンラインにて)実施しました。本研修は地方自治体、政府関係機関、公益法人等において知的財産権関係の業務に携わる職員を対象とし、その業務遂行に必要な知識を習得することにより、知的財産権制度の理解を深め、同制度の円滑な運用に資することを目的としています。

1. 研修の概要						
(1) 日程	第1回		第2回		第3回	
	9月1日～3日 (3日間)		11月25日～26日 (2日間)		開催中止	
(2) 対象	政府関係機関、地方自治体、行政機関が所管する研究機関、独法、公益法人等の職員等		行政機関が所管する研究機関、独法、公益法人等の職員等		—	—
(3) 開催地	座学とオンラインの同時開催		オンライン		—	—
(4) 申込人数	34名		55名		—	—
(5) 参加人数	33名(集合型19名、オンライン14名)		54名		—	—
(6) 講師	9名		10名		—	—
(7) 研修内容	産業財産権制度の概要 特許制度の概要 他		産業財産権制度の概要 知財管理について 他		—	—
2. アンケート結果						
(1) 研修全体として	人数	割合	人数	割合	人数	割合
・非常に知識や能力が向上した (非常に有意義であった)	13名	52%	17名	32%	—	—
・知識や能力が向上した (有意義であった)	11名	44%	26名	48%	—	—
・どちらとも言えない	1名	4%	11名	20%	—	—
・あまり知識や能力が向上しなかった (あまり有意義でなかった)	0名	0%	0名	0%	—	—
・知識や能力が向上しなかった (有意義でなかった)	0名	0%	0名	0%	—	—
・無回答	8名	—	0名	—	—	—
(2) 主な意見・要望	<p>〈産業財産権制度の概要(第1,2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業財産権制度の全体の仕組みが理解できた。 ・全体的な概要を学ぶことができ、知財を理解する上での基盤のようなものを得られた。 ・知財に馴染みが無い分野の人間にとって、ちょうど良い導入であった。 ・分かり易い身近な例を交えて、内容を紹介していただけで良かった。 <p>〈特許制度の概要(第1,2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特許制度における発明の立ち位置のわかる非常に簡明なものであった。 ・初心者ですが、特許をなぜとる必要があるのかわかりやすい説明で勉強になった。 ・実物の提示や、講師の豊富な経験に由来する数々のエピソードにより、講義が印象深いものとなった。 ・具体例等を交えてくれたので、わかりやすく、聞くだけでなく視ることで理解を深めることができた。 <p>〈意匠制度の概要(第1,2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意匠は難しい印象だったが、わかりやすく解説していただけで良かった。 ・意匠の具体的な例の引用が豊富であり、イメージが持ちやすかった。 ・情報量もコントロールされており、初心者にも親切だった。 ・意匠だけが持つメリットについて、詳細に解説いただくことで、意匠をもっと活用してみようという意識が生まれた。 <p>〈商標制度の概要(第1,2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商標という言葉はよく聞くものの基本的な講義も受けたことがなく、本日の講義で、これまで深く考えないで何となくわかっている気であった部分について理解を深めることが出来た。 ・具体的な事例をもとに、図を使用しながら丁寧に説明していただけだったので、初心者でもわかりやすかった。 ・ディスカッションでは具体的な事例に取り組む手がかりも御教示いただき、有益であった。 ・テキストも要点が明確に目に飛び込む様な構成で、理解が進んだ。 					

	<p>〈著作権法の概要(第1,2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作権の事例をたくさん紹介していただき、具体的だったので、興味がわいた。 ・膨大な著作権を短時間で理解できる良い内容だった。 ・全体像から演習、具体的に業務でかかわる部分まで網羅していただき、実務でも参考になる内容だった。 ・基本書には出てこないような具体例を用いてより身近に著作権法を学ぶことができた。 						
	<p>〈産学連携の推進(第1,2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学との連携についての話を聞く機会が今まであまりなかったので、非常に興味深く聞くことができた。 ・知的財産がダイナミックに活用されている事例やその留意点を知ることができ、本研修全体の総まとめの講義としてふさわしい内容であった。 ・大学の知財に対する考え方、企業との連携の仕方が具体的に理解できた。 ・説明の合間、合間に受講生に考える間を差し込んで頂き、理解が深まった。 						
	<p>〈不正競争防止法の概要(第1回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商標法や意匠法等の類似の制度・概念等と比較しながらの説明が有用だった。 ・不正競争防止法のほぼ全てにわたり網羅的な説明があり、有意義であった。 ・単独学習もできるような資料なの良かった。 						
	<p>〈権利侵害について(第1回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明時に簡易な例を入れていただき理解が進んだ。 ・特許制度の基本的な理解を踏まえて、侵害に関する法制度や事例が理解できてよかった。 ・まとまった内容で参考になった。 						
	<p>〈地域ブランド(第1回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細かいデータからブランディングのあり方を学ぶことができた。 ・多彩な事例を交えられて理解が進んだ。 ・権利となっていないブランド維持について学ぶところが多く、参考になった。 						
	<p>〈知的財産と標準(第2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財と合わせて検討することでビジネスにつながるということがよくわかった。 ・JIS等については知っていたが、標準化が重要なことであること、営業ツールとしても使えることを知った。 ・標準化とビジネス活用を結びつけ、政策面でどのように推進していくのか興味深い内容だった。 						
	<p>〈知的財産に関する契約について(第1,2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約の様式から現場の課題、問題事例など幅広く学ぶことができた。 ・権利で登録されないものは、契約で守る必要があると再確認した。 ・実務的な事例が多かったので、大変わかりやすかった。 ・企業戦略や知財を扱っていく中で、非常に重要であることが理解できた。 						
	<p>〈知財管理について(第2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[初級]なので、簡単すぎないか不安だったが、むしろ広範囲の内容について深く話していただいたので、集中力が切れることなく受講することができた。 ・税金の関係するところは難易度が高く感じたが、初めて聞く内容で非常に刺激を受けた。 ・特許だけでなく、財務会計等についても解説いただき、特許ビジネスを多面的にとらえる視座を学ぶことが出来た。 ・過去の実例交えて非常に興味をわかせるながら話を進めていただけ良かった。 						
	<p>〈グループ演習(第2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分以外の方の着眼する発想が違うことが、感心となり勉強になった。 ・他の組織の方々と一緒に議論できる、貴重な機会であった。 ・長いと思ったが、議論が深まったことで、あっという間の時間であった。 ・リモートでの講義ということで不安もあったが、想定以上に議論が発展し、楽しみながらも充実した議論ができた。 						
	<p>〈総合的なご意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの講師も専門的な内容について詳しく講義いただいたので、非常に良かった。 ・知的財産権について知らないまま実務をする恐ろしさを知ることができた。 ・新たな知見や考え方を学ぶことが出来たので有意義であった。 ・知的財産の基礎を学べたことに加え、それをどう自身の業務や今後の仕事に生かせるか、実際の大学や研究現場でどのようなことが課題になっているか、など実際的な面からも学べたことが良かった。 ・知財全体を広く理解出来たことで、知財管理だけでなく、政策にも考えが及ぶようになれた。 ・ボリュームがしっかりとあり、知財とその業務についての自分なりのイメージを持つことができたため、今後の業務に確実に活かせると思う。 ・講義も有意義だったが、特にグループ演習が役に立った。発明を発掘するには、ユーザー目線だけでなく設計者目線も必要だと気づけた。 ・オンライン受講はコロナ対策だけでなく、遠方の受講希望者のためにもよかったと思う。 						
<p>(3)アンケート回収率</p>	<table border="1"> <tr> <td>25名</td> <td>76%</td> <td>54名</td> <td>100%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>	25名	76%	54名	100%	—	—
25名	76%	54名	100%	—	—		